

# 中小企業景況レポート No.1

平成26年1月～3月期の景気の現状と平成26年4月～6月期の見通し

- 地区内中期業景気動向調査  
業種別・地区別  
平成26年1月～3月期実績  
平成26年4月～6月期の見通し
- 特別調査  
「最近の設備投資動向」

## ごあいさつ



皆様には、平素よりいかわ信用金庫に格別のご愛顧、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私儀、この度6月18日開催の弊金庫第91期通常総代会並びに理事会におきまして理事長に選任され就任いたしました。

つきましては、微力ではありますが理事長として鋭意職務に専心し、相互扶助の経営理念のもと、地域になくてはならない信用金庫、お客さまに選ばれる信用金庫を目指し、役職員一同、一層努力してまいります所存でございます。

今後とも温かいご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

理事長 小林 茂太

## 調査にあたって

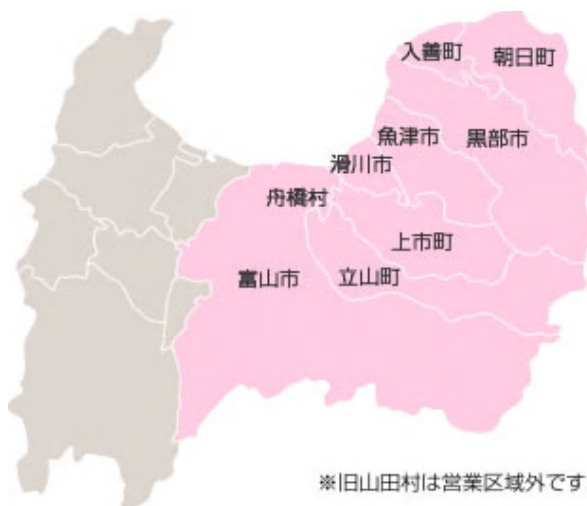
にいかわ信用金庫では、この度、当庫営業地区の158社の中小企業の皆様からご協力をいただき、平成26年1月～3月の景気動向と平成26年4月～6月の見通しを調査いたしました。

対象業種は、製造業、卸・小売業、サービス業、不動産業、建設業、その他の6業種です。

なお、今回は初回調査ですので過去データがなく、前期3か月比較と今後3か月予想との比較を中心に業種別及び当庫営業地区別に分析しました。

今後、四半期ごとに景気動向調査を実施し、調査結果を地域に還元してまいりますので引き続きご協力をお願い申し上げます。

## 当庫の営業エリア



- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 魚津地区     | ・・・魚津市                      |
| 滑川地区     | ・・・滑川市                      |
| 黒部・下新川地区 | ・・・黒部市、朝日町、入善町、             |
| 富山地区     | ・・・富山市(旧山田村を除く)、舟橋村、上市町、立山町 |

### D.I値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較増加判断の割合が高くD.I値23.7、3か月予想でも更に増加しD.I値34.2となっている。今後についても「やや増加」と回答している企業が最も多く9社から16社に増加しており、景気回復の兆しが見られる一方で、「変わらない」と判断している企業は13社から今後予想も12社と依然として地元企業全体に広く景気回復が波及していない結果となっている。

### 仕入単価判断

前期比較「やや上昇」が最も多く18社、「変わらない」が14社、3か月予想も「やや上昇」「変わらない」とする割合が94%(36社)となっており今後も仕入れ単価が上昇すると判断する企業が多くなっている。

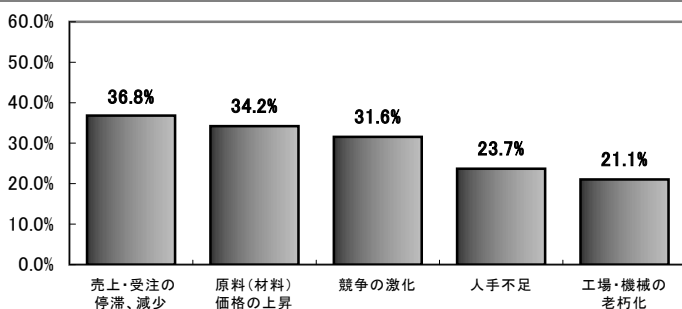
### 資金繰り判断

前期比較「変わらない」が最も高く29社、3か月予想も「変わらない」が27社となっています。一方で、「やや悪化」「悪化」が4社から7社に増加し資金繰り改善が進んでいない企業も少なくない結果となっている。

### 収益判断

「やや増加」したと回答した企業が最も多く15社であるが、3か月予想では、「やや増加」するとした企業が減少し13社、減少割合は、前期判断「やや減少」「減少」が9社、3か月予想でも8社で減少予想。依然として収益改善に繋がっていない結果となっている。

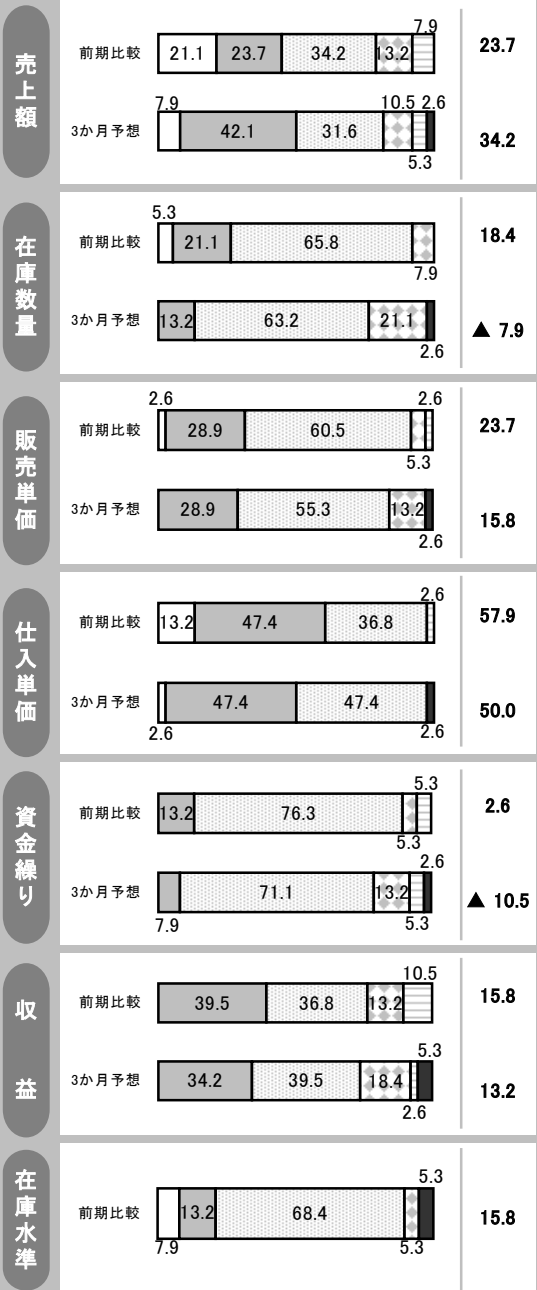
経営上の問題（複数回答）



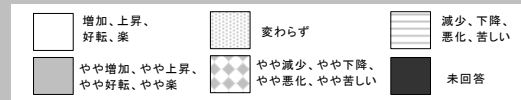
## 景況感についてのご意見を伺いました！

- ・消費税増税後の消費冷え込みが気になる。
- ・地元中小企業まで景気回復が波及していないように感じる。
- ・円安に伴う原材料費高騰の影響が大きく、一方で製品価格に転嫁できず足元の状況は厳しい。
- ・定期的に受注は確保できているが、品質向上に向けた設備投資が必要。
- ・外国産の原材料が高騰している。
- ・海外への生産移行が進み、国内での生産減少と単価が上がらない。
- ・業績好調な発注先からの受注増を期待している。

## D.I値



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較「やや増加」が56%(14社)が最も多く消費増税前の駆け込み需要によるものと見られ、一方、3か月予想で、「やや増加」と回答している企業が14社から9社に減少、「やや減少」は4社から9社に増加しており、消費増税前の駆け込み需要反動の影響を予想している企業が多うかがえる。

### 仕入単価判断

前期比較「やや上昇」が4社であったが、3か月比較では、「変わらない」とする回答が15社から10社に減少、一方、「やや上昇」が4社から10社に増加しており販売単価「変わらず」が9社から12社に増加しており、経営上の諸問題で「販売価格の伸び悩み」が最も多いことから消費増税分の価格転嫁に苦慮している先が少なくないことがうかがえる。

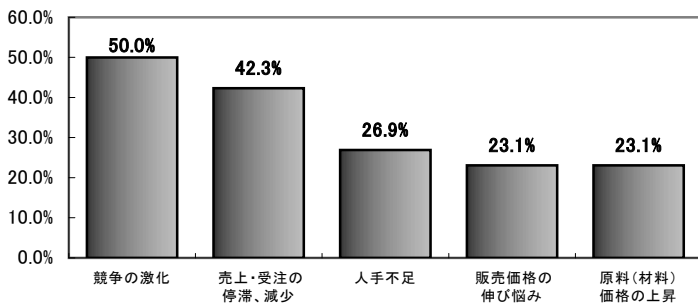
### 資金繰り判断

前期比較「やや悪化」予測6社から、3か月予想7社と資金繰りに苦慮している企業が少なくない結果となっている。

### 収益判断

前期比較「減少」7社、3か月予想でも7社となっており、収益増加と判断している企業は僅かに1社にとどまっている。

経営上の問題（複数回答）

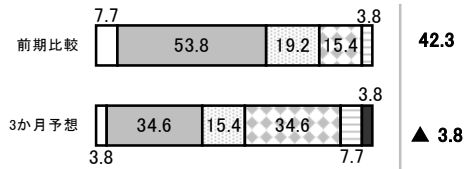


## 景況感についてのご意見を伺いました！

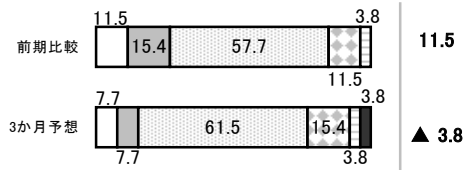
- ・4月の消費増税後、思ったよりは影響が出ていません。
- ・今後も競争が続く！
- ・消費税アップ以降の景気下降が懸念される。
- ・業界に関しては冷蔵庫のように冷え込む。各社さまさまざまな取り組みをしていくと思う。生き残りをかけて、今一度社検(会社を検定)をし、見直しをかけて、社員全員で取り組み、新たな仕組みづくりをしていきたい。
- ・景気の先行き不透明感が強い。
- ・冬場の人気商品(海産物)は、夏場は値段が落ちるため、資金繰り等影響が出るかもしれない。

D.I値

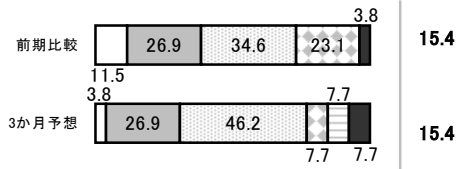
売上額



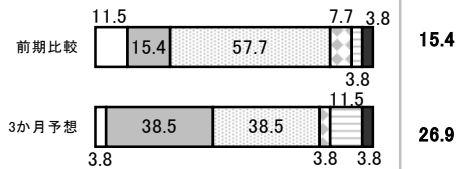
在庫数量



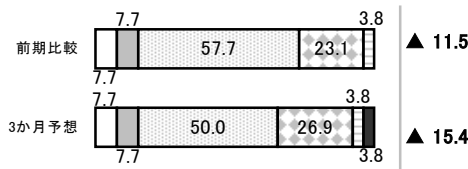
販売単価



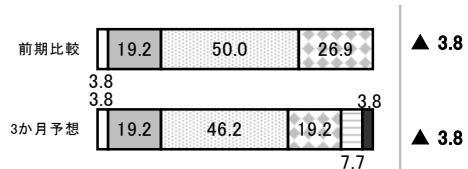
仕入単価



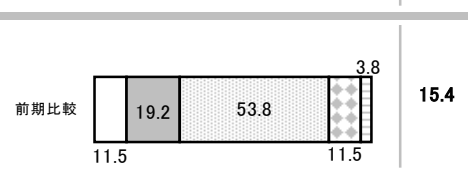
資金繰り



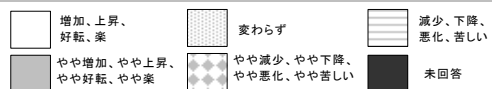
収益



在庫水準



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期と比較して、「変わらず」が10社と最も多く、3か月予想で、「変わらず」と回答している企業が10社から13社に増加、「やや減少」は5社から4社に減少しており、消費増税による売上への影響は少ないと見られる。

### 仕入単価判断

前期比較「変わらず」と回答している企業が15社から3か月予想12社に減少し、「やや上昇」が7社から11社に増加していることから消費増税による原価上昇の影響を予想している企業が多くうかがえる。

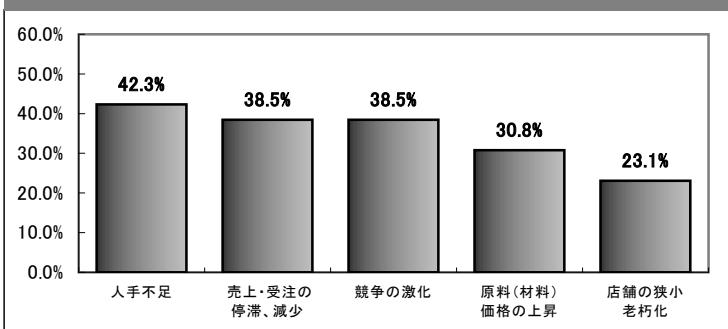
### 販売単価判断

前期比較「変わらず」が20社であったが、3か月予想では16社に減少、「やや上昇」が1社から6社に増加しており、消費増税分の価格転嫁を検討している企業がある一方で価格転嫁に慎重になっている企業が少なくないことがうかがえる。

### 資金繰り判断

前期比較「変わらず」が17社から3か月予想18社に微増であるが、「やや好転」が4社から1社に減少し「やや悪化」が1社から3社に増加していることから、消費増税や仕入単価上昇が、今後の資金繰りに影響すると判断している企業が少なくないと思われる。

経営上の問題（複数回答）



## 景況感についてのご意見を伺いました！

- ・今はまずまずだが、先行き不透明です。
- ・業種柄、景気の影響は限定的。超高齢化社会が加速し、需要の拡大が見込まれるので、積極的な設備投資を予定している。
- ・売り上げ増加は見込めるが、人員増加により粗利確保が難しくなっている。
- ・これから先、お客様が入るのであれば、設備等を良くしたいが、こればかりは分からないので、どうすればよいのか半信半疑。
- ・経営上の問題として 商圏の人口減少、少子高齢化に伴い人手不足。
- ・豚流行性下痢による価格動向が気になる。
- ・経営上の問題として 長期借入金返済が負担となっている。

		D.I値
売上額	前期比較	0.0
	3か月予想	3.8
在庫数量	前期比較	▲ 11.5
	3か月予想	▲ 7.7
販売単価	前期比較	▲ 3.8
	3か月予想	19.2
仕入単価	前期比較	30.8
	3か月予想	42.3
資金繰り	前期比較	7.7
	3か月予想	▲ 15.4
収益	前期比較	▲ 3.8
	3か月予想	▲ 3.8
在庫水準	前期比較	0.0
	3か月予想	15.4

前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



### 今期の業況と次期の見通し

#### 売上額判断

前期比較「変わらず」が16社と最も多く、次いで「やや増加」が8社となっており、3か月予想で「変わらず」が13社、次いで「やや増加」が11社と回答していることから、景気対策としての公共工事発注増が地元建設業者の受注増に波及しつつあることがうかがえる。

#### 仕入単価判断

前期比較「上昇」3社「やや上昇」14社から、3か月予想では「上昇」7社「やや上昇」16社となっており回答企業の66%で仕入単価は今後も上昇すると判断している。

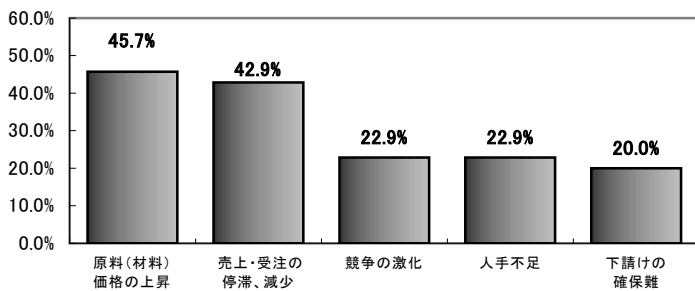
#### 資金繰り判断

前期比較「変わらず」と判断している企業が27社から3か月予想も26社とほぼ同水準であるが収益判断では、「やや増加」8社、「変わらず」18社から、3か月予想は「やや増加」6社、「変わらず」19社となり、ほぼ同水準である。一方で、前記比較「やや悪化」3社、「悪化」2社から、3か月予想「やや悪化」6社、「悪化」3社へと増加しており、さらに前期比較「好転」3社であったが、3か月予想では「好転」0社であり、仕入単価上昇が収益を圧迫すると判断している企業も少ない結果となっている。

#### 経営上の諸問題

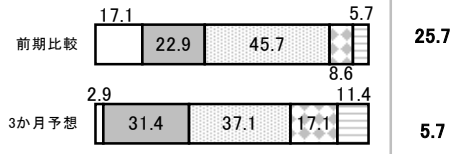
「原材料価格上昇」・「人出不足」・「下請けの確保難」等の回答が多く収益圧迫要因に対応苦慮している企業が少なくないことがうかがえる。また、「借入難」とらえている企業もあり、資金繰り「やや悪化」4社「悪化」3社あり、依然として資金繰りに苦慮している企業も少なくない結果となっている。

経営上の問題（複数回答）

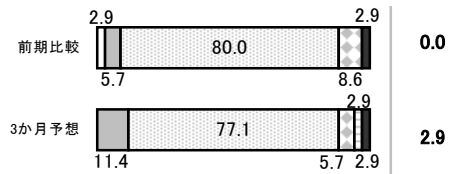


### D.I値

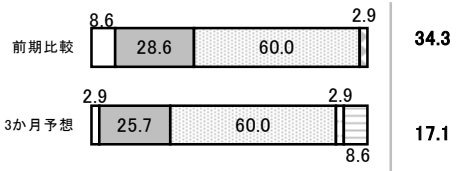
#### 売上額



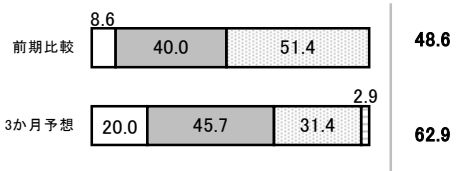
#### 在庫数量



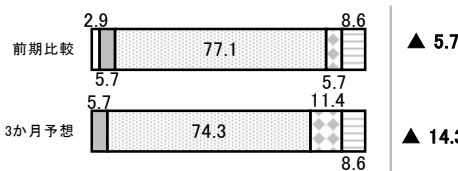
#### 販売単価



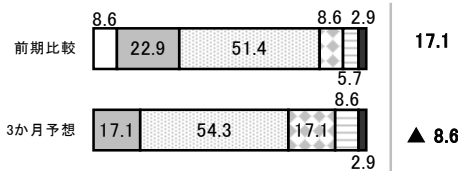
#### 仕入単価



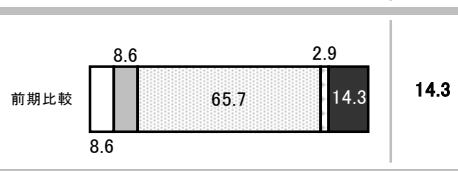
#### 資金繰り



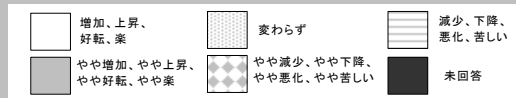
#### 収益



#### 在庫水準



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



### 景況感についてのご意見を伺いました！

- ・金利負担。人手不足と言っているほど仕事が無いので。
- ・前年同様に9月以降繁忙期となり材料・人手不足が懸念される。
- ・今期後半の受注増加に期待したい。
- ・黒部市発注の仕事が今後出てくれば忙しくなると思う。
- ・消費増税に伴う価格転嫁。
- ・消費増税前は活況であったが、今は以前に戻りつつある。
- ・ここ1～2年の工事受注は予想できるが、その先は不透明。
- ・公共工事受注が継続的に見込まれるが、新年度に入り昨年度末ほどはまだ出てきてない。
- ・例年、4月～6月は受注が少なく、7月以降は不透明である。
- ・地元地区内の公共工事が減少している。

- ・公共工事の増加を待ちたい。新幹線開通による地域経済の発展を期待する。
- ・今期は公共工事を中心に売上は増加傾向にあり、収益面でも改善が見られ、現時点では比較的好調である。しかし先々の見通しは不透明なところがあり、予断を許さない情勢である。
- ・上昇ムードは大歓迎。ただし今後の景気維持は「？」今のうちに体質改善に注力必至。
- ・3月～7月迄が年間での底となるので、この時期で1年間に売上が決まる。新幹線関連が終わり、民間頼みである。トヨタネッツなどが円高等の好感感からリニューアルが多かった。デイサービスや薬品メーカーからの受注(下請け)があった。

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

「変わらず」が6社・「やや増加」が4社から今後予想では「変わらず」が10社に増加している一方で「やや増加」が1社に減少している。

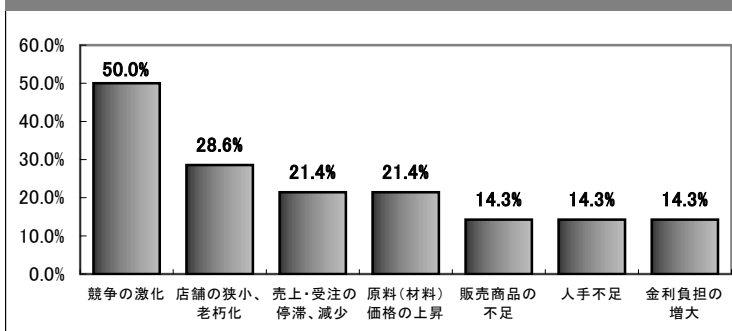
### 収益判断

「変わらず」7社・「やや増加」3社から、3か月予想「変わらず」11社に増加「やや増加」1社となっており、回答企業の8割を占めている。

### 在庫・仕入・資金繰り判断

前期比較・今後予想ともに同水準であり、いずれも「変わらない」と判断している企業が最も多くなっている。

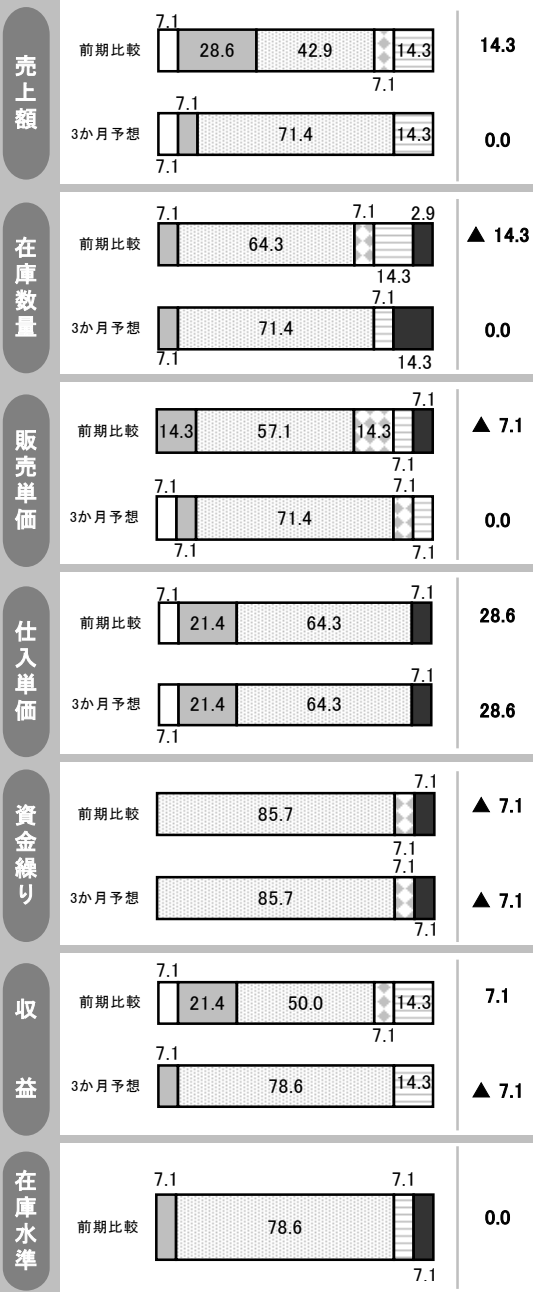
経営上の問題（複数回答）



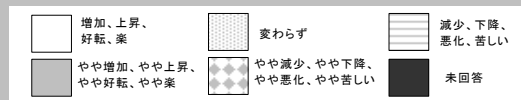
## 景況感についてのご意見を伺いました！

- ・昨年6月以降、空室は1室のみにて推移と安定した。
- ・良くなっている。
- ・消費税アップの影響で景気は悪くなる。
- ・分譲地(18区画)の完売が目前。
- ・良い物件(場所)があれば賃貸アパート建築を検討します。
- ・空室を埋める努力がより一層必要と感じている。
- ・昨年9月の駆け込み契約後から今年4月の消費税引き上げ後の反動が大きく、消費マインドの冷え込みを実感している。
- ・大型消費財全般に影響がある。

## D.I値



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月





# その他の業種 回答企業 19社

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

医療保険衛生・福祉で前期比較増加判断の割合が高く、3か月予想で運輸業で減少判断が増加していることから全体のD.I値は前期比較21.1から3か月予想15.8に低下している。

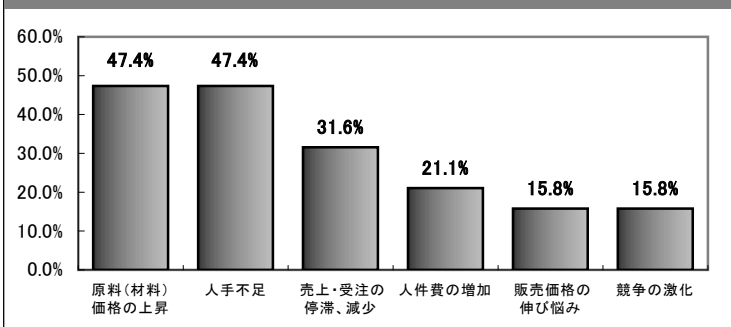
### 仕入単価判断

前期比較47%の企業で単価上昇と判断しており、D.I値47.4、3か月予想でもD.I値52.6と今後も仕入れ単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

### 収益判断

前期比較悪化と判断する企業が多くD.I値▲15.8から、3か月予想では悪化予想が増加しD.I値▲26.3と収益が低下すると予想する企業が多くなっている。

経営上の問題（複数回答）

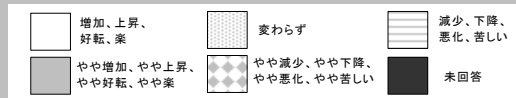


## 景況感についてのご意見を伺いました！

- ・診療報酬改定の年(2年に一度)であるが、影響はしばらく様子を見ないとわからない。(医療保険衛生)
- ・介護施設との提携により診療報酬の増加を期待している。(医療保険衛生)
- ・他の好調な業界に関連して車両の稼働率も上昇している。(運送業)
- ・燃料費の高騰が続いており収益を圧迫している。(運送業)
- ・消費増税に伴い報酬改定されたが経費もあがるので実費値上げを検討しているが、利用者負担が増えると利用しにくくなると思われる。(医療保険福祉)

		D.I値
売上額	前期比較	21.1
	3か月予想	15.8
在庫数量	前期比較	▲10.5
	3か月予想	▲15.8
販売単価	前期比較	10.5
	3か月予想	15.8
仕入単価	前期比較	47.4
	3か月予想	52.6
資金繰り	前期比較	▲10.5
	3か月予想	▲21.1
収益	前期比較	▲15.8
	3か月予想	▲26.3
在庫水準	前期比較	▲5.3

前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



# 魚津地区

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くなっており(D.I値20.8)、3か月予想では、更に増加判断の割合(43.7%)が高くなっている。(D.I値25.0)

### 販売単価判断

若干ではあるが上昇と判断の割合が高くなっている。3か月予想では、更に上昇と判断の割合(27.1%)が高くなっている。(D.I値14.6)

### 仕入単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くなっている。(D.I値29.2) 3か月予想では、更に上昇と判断の割合(50.0%)が高くなっている。(D.I値45.8)

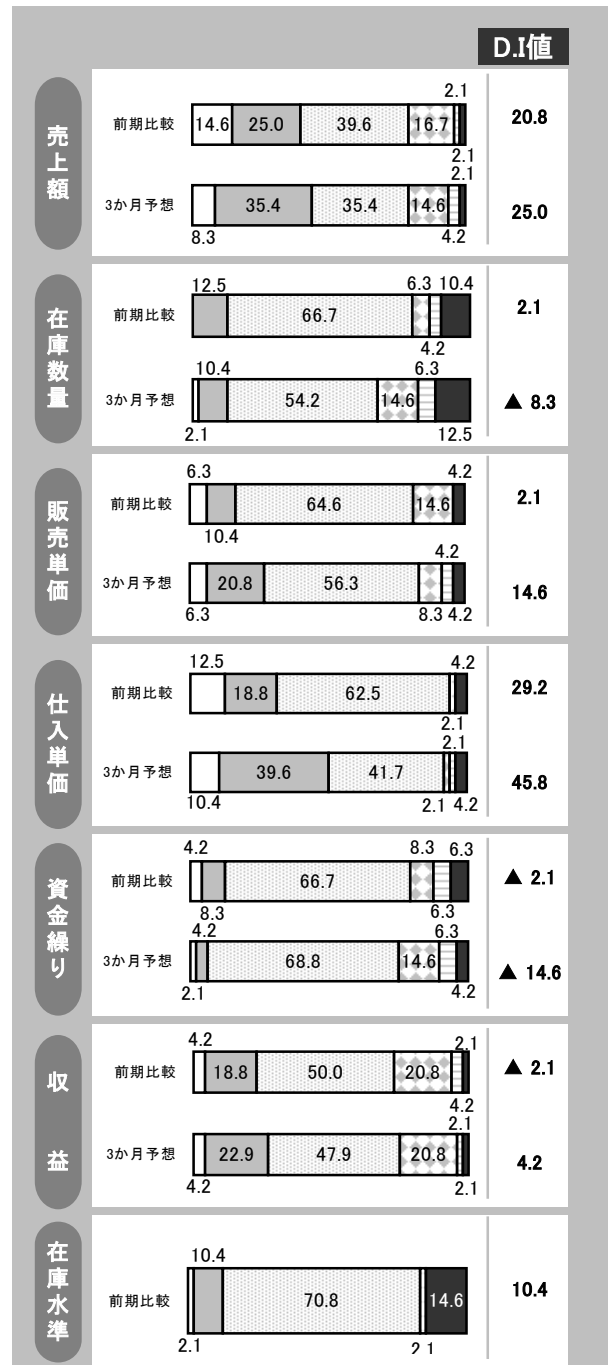
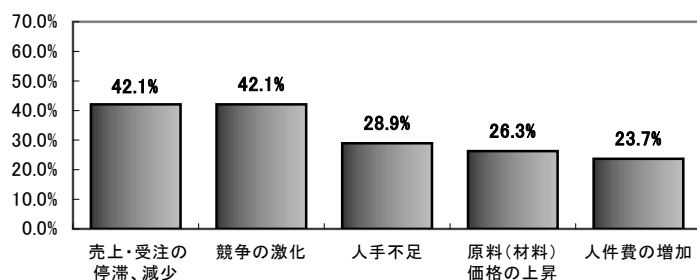
### 資金繰り判断

前期比較で悪化判断の割合が若干高くなっているが(D.I値▲2.1)、3か月予想では、悪化判断の割合(20.8%)が更に高くなっている。(D.I値▲14.6)。

### 収益判断

前期比較で減少判断が若干高くなっているが(D.I値▲2.1)、3か月予想では、D.I値4.2と増加すると判断する企業の割合が増加している。

経営上の問題（複数回答）



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



# 滑川地区

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くなっていたが(D.I値15.0)、3か月予想では、減少判断の割合(30.5%)が高くD.I値▲15.0と今後減少と判断している企業の割合が多くなっている。

### 販売単価判断

上昇と判断の割合(30.0%)高くなっているが(D.I値15.0)、3か月予想では、上昇と判断の割合が同水準であるが、変わらないと判断する割合が減少し低下判断が増加しており、D.I値20.0となっている。

### 仕入単価判断

前期比較及び3か月予想ともに、D.I値55.0となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が半数以上となっている。

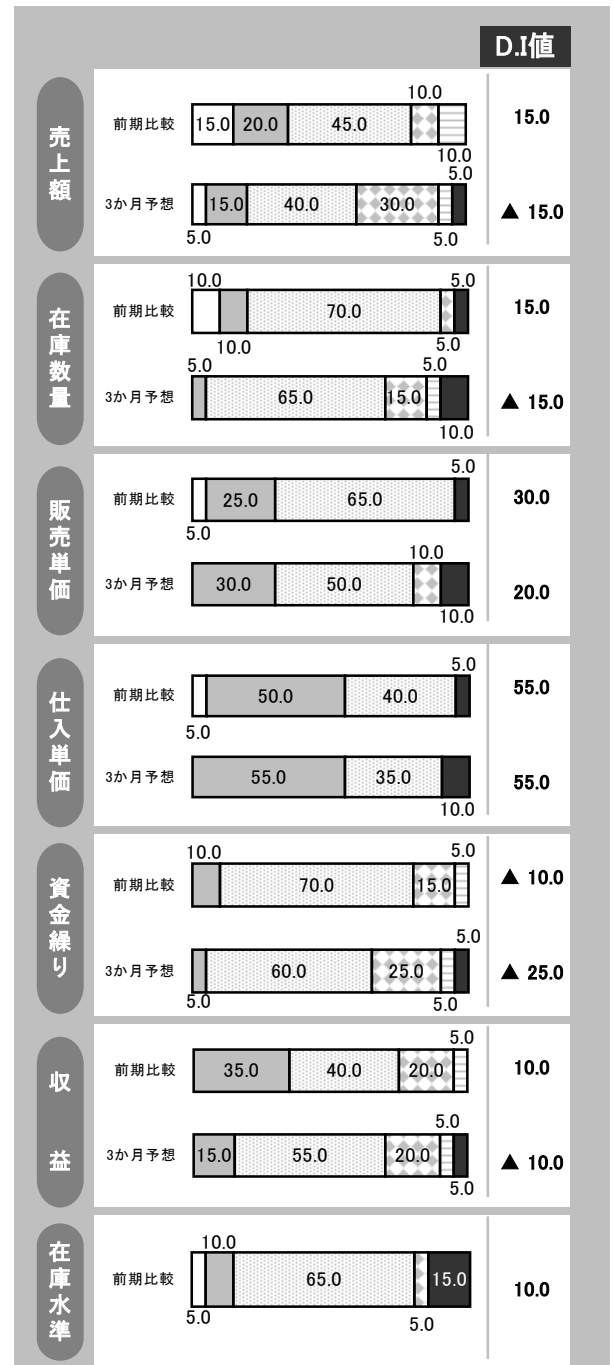
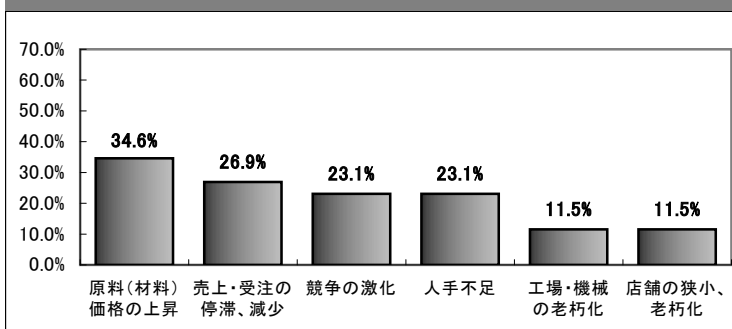
### 資金繰り判断

前期比較で悪化判断の割合が高くなっているが(D.I値▲10.0)、3か月予想でも、悪化判断の割合が更に高くなっている。(D.I値▲14.6)

### 収益判断

前期比較で増加判断の割合が高くなっているが(D.I値10.0)、3か月予想では、増加判断が大幅に減少し、低下判断が増加しており、D.I値▲10.0と減少すると判断する企業の割合が増加している。

経営上の問題（複数回答）



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



# 黒部・下新川地区

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くD.I値28.0となっているが、3か月予想では、増加判断の割合が減少し、D.I値20.0となっている。

### 販売単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くなっているが(D.I値20.0)、3か月予想では、低下判断の割合が増加しており、D.I値14.0となっている。

### 仕入単価判断

前期比較上昇判断の割合が高くD.I値56.0、3か月予想でもD.I値50.0となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

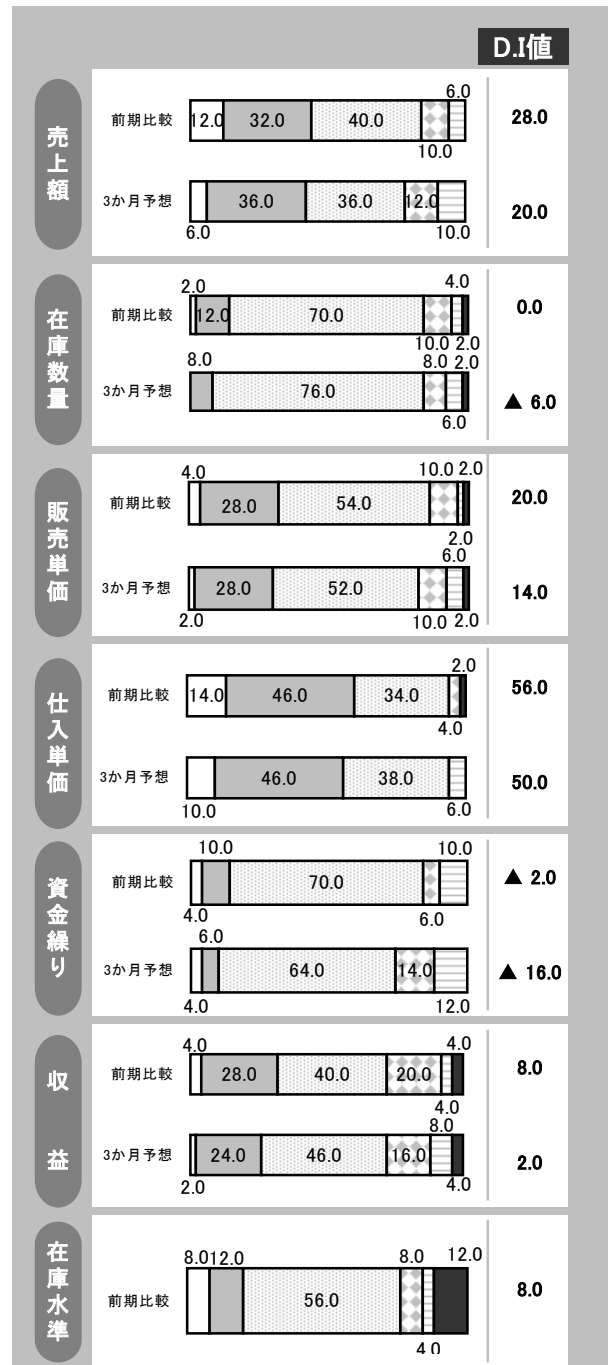
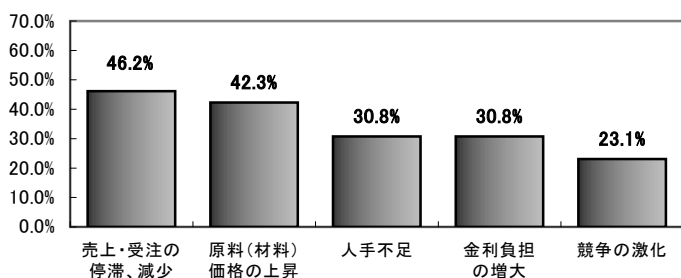
### 資金繰り判断

前期比較で悪化判断の割合が若干高くなっているが(D.I値▲2.0)、3か月予想では、悪化判断の割合が更に増加し、D.I値▲16.0となっている。

### 収益判断

前期比較及び3か月予想ともに、減少と判断している割合が若干多くD.I値▲2.0となっている。

経営上の問題（複数回答）



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



# 富山地区

## 今期の業況と次期の見通し

### 売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くD.I値20.0となっていたが、3か月予想では、増加判断の割合が大幅に減少し、減少判断の割合が増加してD.I値▲2.5となっている。

### 販売単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くなっているが(D.I値20.0)、3か月予想では上昇判断の割合が減少しており、D.I値15.0と低下している。

### 仕入単価判断

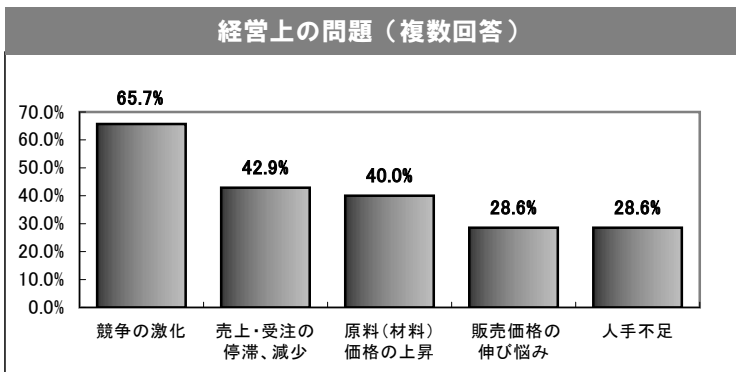
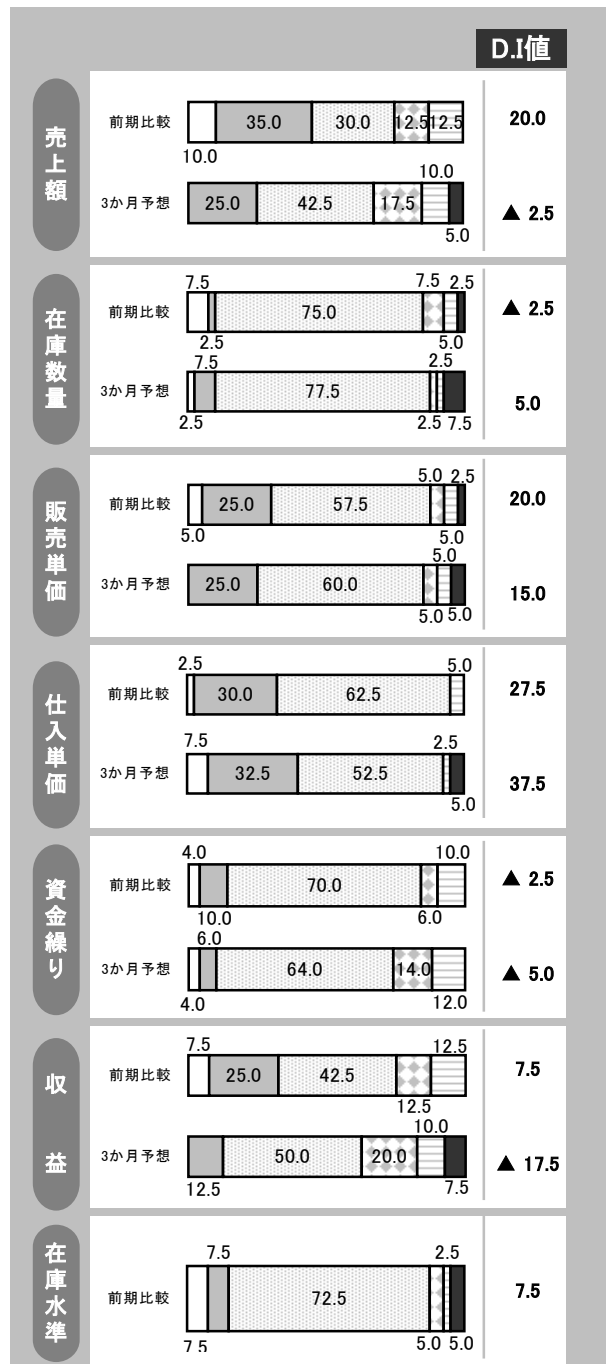
前期比較上昇判断割合が高く(D.I値27.5)、3か月予想でもD.I値37.5となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

### 資金繰り判断

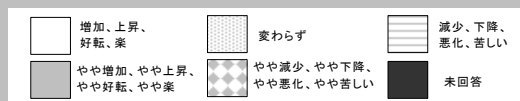
前期比較で悪化判断の割合が若干高くなっている(D.I値▲2.5)。3か月予想でも、悪化判断の割合が高く、D.I値▲5.0となっており悪化予想の企業が多くなっている。

### 収益判断

前期比較増加割合が高くD.I値7.5となっているが、3か月予想では、悪化判断の割合が高くなりD.I値▲17.5と悪化する判断している企業が多くなっている。



前期比較・・・26年1月～3月  
3か月予想・・・26年4月～6月



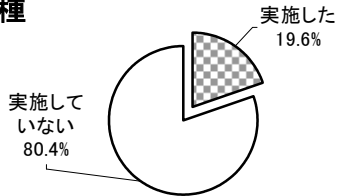
# 最近の設備投資動向

今回は当金庫地区内の中小企業経営者の皆様に「設備投資動向」についてお聞きしました。

## 問1

最近3ヶ月間に設備投資[300万円以上]を実施されましたか。

### 全業種



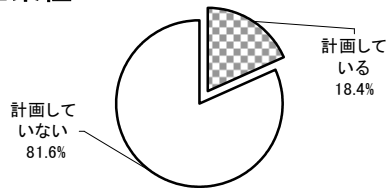
設備投資の実施企業は全体の約2割あり、主要業種では製造業が最も高く28.9%、次いでサービス業の23.1%となっている。投資目的では、製造業・サービス業で「生産能力・販売力強化」が最も高くなっている。又、建設業では、「保有設備の修理・補修」が33.0%となっている。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
実施した	28.9%	15.4%	23.1%	5.7%	14.3%	31.6%
実施していない	71.1%	84.6%	76.9%	94.3%	85.7%	68.4%

## 問2

今後3ヶ月間に設備投資[300万円以上]の計画はございますか。

### 全業種



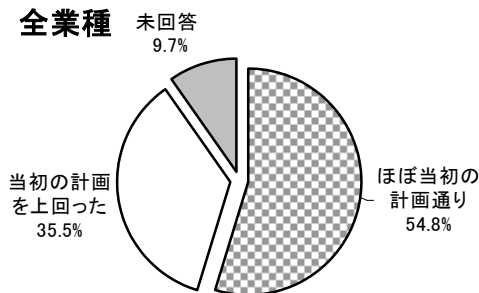
全体で18.4%の企業で投資を計画しており、業種別では「製造」「卸・小売」「サービス業」で23%と比較的高い割合となっている。投資目的で見ると、製造業では生産能力・販売能力の強化や製品・商品の高付加価値化などが多くなっている。卸・小売業では、省力化・自動化への促進やコストダウンと生産・販売の合理化などとなっている。サービス業では、生産能力・販売能力の強化や情報化への対応となっている。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
実施した	23.7%	23.1%	23.1%	2.9%	21.4%	31.6%
実施していない	76.3%	76.9%	76.9%	97.1%	78.6%	68.4%

## 問3

最近3ヶ月間に設備投資を実施された事業所にお尋ねします。次の中から1つ選んでください。

### 全業種



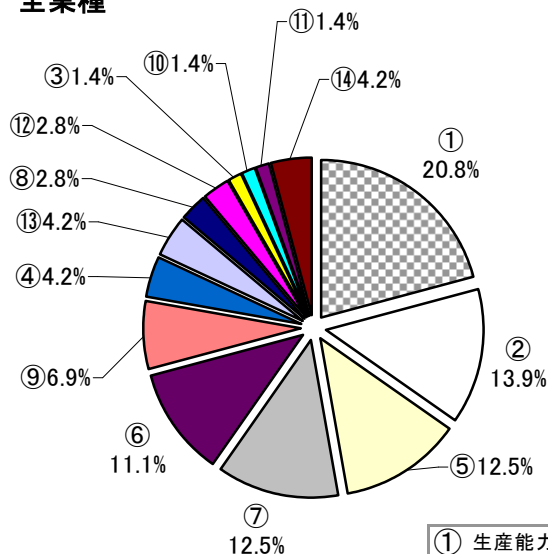
設備投資を実施した企業の8割以上で、当初計画又は当初以上となっている。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
ほぼ当初の計画通り	54.5%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%
当初の計画を上回った	36.4%	50.0%	33.3%	50.0%	0.0%	33.3%
当初の計画を下回った	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	9.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%

問4

今後3ヶ月間に設備投資を計画している事業所にお尋ねします。次の中から1つ選んでください。

全業種



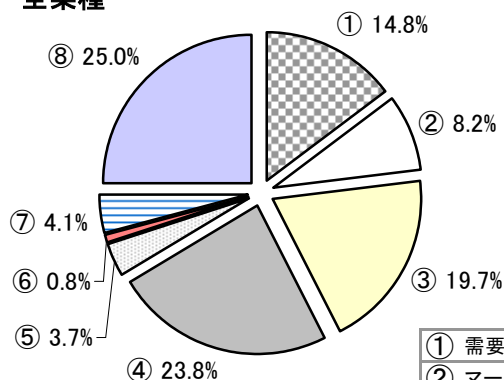
設備投資を予定している事業所の目的をみると、生産能力・販売能力の強化が最も多く全体の20.8%、次いで現有設備維持・補修13.9%、製品・商品の高付加価値化やコストダウン等生産・販売の合理化12.5%となっている。又、建設業では、現有設備の維持・補修が33%と高い割合となっている。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
① 生産能力・販売能力の強化	31.6%	10.0%	28.6%	33.3%	33.3%	25.0%
② 現有設備の維持・補修	15.8%	10.0%	14.3%	33.3%	0.0%	50.0%
③ 研究開発・技術革新への対応	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 新製品開発・技術革新への進出	5.3%	5.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤ 製品・商品の高付加価値化	21.1%	10.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥ 省力化・自動化の促進	10.5%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ コストダウン等生産・販売の合理化	10.5%	15.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧ 事務処理の合理化	0.0%	5.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨ 情報化への対応	0.0%	5.0%	14.3%	33.3%	0.0%	0.0%
⑩ 事業所・工場など就業環境の改善	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪ 従業員向け福利厚生施設の整備	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑫ 公害防止・環境保全の強化	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑬ その他	0.0%	5.0%	7.1%	0.0%	33.3%	0.0%
⑭ 未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%

問5

設備投資にあたって、重点を置く判断基準は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

全業種




設備投資の判断基準で見ると、「合理化・生産性向上のため」が23.8%、「競争力強化のため」が19.7%となっている。業種別にみると、製造業、卸小・売業では「合理化・生産性向上のため」、サービス業・建設業では、「競争力強化のため」が多くなっている。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
① 需要の拡大が見込まれるため	16.7%	7.5%	11.6%	11.6%	19.5%	15.8%
② マーケットシェア維持拡大のため	5.0%	12.5%	14.0%	14.0%	5.8%	10.5%
③ 競争力強化のため	20.0%	10.0%	27.9%	27.9%	11.5%	26.3%
④ 合理化・生産性向上のため	35.0%	20.0%	18.6%	18.6%	25.0%	5.3%
⑤ 経営多角化のため	1.7%	5.0%	7.0%	7.0%	1.9%	10.5%
⑥ 金利水準が設備投資に好適だから	1.7%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%
⑦ その他	5.0%	2.5%	2.3%	2.3%	1.9%	5.3%
⑧ 未回答	15.0%	42.5%	16.3%	16.3%	34.6%	26.3%

皆様のご協力、ありがとうございました



 **にいかお信用金庫**

編集 融資部

魚津市双葉町6番5号 TEL0765-24-1214  
<http://www.shinkin.co.jp/niikawa/>